

1	項目	ワクチン接種	文教福祉
	質問	子宮頸がんワクチン、すごく大事だと思うが、ベネフィットとそうじゃないもの、正確な情報を市からも出してほしい、追跡調査も個人情報の観点で難しいかもしれないができる範囲で行ってほしい。	
	回答	<p>ご要望のありました、接種後の健康状況に関する追跡調査につきましては、個人情報保護の観点や制度上の制約から、市が独自に大規模な調査を行うことは難しい状況にあります。しかしながら、国や県が実施する調査・検証の動向を注視するとともに、市として可能な範囲で相談体制の充実や実態把握に努めてまいります。</p> <p>また、「実際に接種した方の経験談など、より身近な情報を知りたい」というご意見については、市民が理解を深め、冷静に判断するうえで有意義な視点であると受け止めております。今後の広報や啓発の在り方を検討する際の参考とさせていただきます。</p> <p>ワクチン接種は強制ではなく、最終的にはご本人や保護者が、正確な情報をもとに判断されることが重要です。市としても、市民の皆さまが安心して検診や予防接種を検討できるよう、引き続き情報提供と環境整備に努めてまいります。</p>	
2	項目	監視機能を持つ市議会に対して	
	質問	<p>①執行部の赤字解消努力は、費用対効果に見合っているのか、それを議会としてチェックする具体的機能は。(つくし号、ふるさと納税赤字)ランニングコストはいくらくらいか。補助金の内訳は。運送費の中に人件費、油代、車両の原価償却費、保険料、バス停、などの運営コストは含まれているのか。</p> <p>ふるさと納税でマイナスが6000万円位あると知りました。農業や商工会と協力して、商品開発をお願いしたい。</p> <p>②ひとり親貧困世帯について…支援を</p> <p>(3900世帯を調べると、1日2食以下43%、うち1食は学校給食)</p>	<p>①予算審査</p> <p>②文教福祉</p>
	回答	<p>①前提として、全体を通して赤字というわけではありません。</p> <p>コミュニティバス「つくし号」の運営状況を例として説明します。</p> <p>平成31年から運行を開始し、市内公共施設、医療機関、商業施設等を結ぶバスとして運行しており、鉄道、路線バスをカバーしている状況です。</p> <p>経費から収入を差し引いた額を運航委託料として歳出しており、近年の実績を見ても、支出が多い状況で赤字となっています。</p> <p>市民の皆さんの生活の利便性向上のため、必要な事業であると考えていますが、その一方で、持続可能な事業、また、効果がある事業とするためには、工夫と努力をする必要があると考えているため、両方の視点を持って監視していきたいと考えています。</p> <p>他にも様々な議案がありますが、市民のためとなることが重要であると考えていますので、議会としても厳しく審査しますが、赤字も認めている状況についてご理解いただきたいと思います。</p>	

	<p>②【全国調査から見える深刻な状況】</p> <p>ひとり親家庭約3,900世帯を対象とした調査では、1日2食以下41%、エアコン使用控え74%、毎日入浴できない34%、健康状態が良くない48%など、(2025年7月 しんぐるまざあず・ふぉーらむの調査)子どもの健康にも影響が出る深刻な状況が報告されています。筑紫野市でも同様の課題が潜在している可能性があります。</p> <p>【現在、筑紫野市が取り組んでいる主な支援】</p> <p>■生活困窮者自立支援：自立相談、家計改善、就労準備、住居確保給付金など。</p> <p>■ひとり親家庭支援：児童扶養手当、医療費助成、就業相談、資格取得支援。</p> <p>■子育て世帯への経済支援：妊娠判定費用助成(1万円)、出産期給付(5万円×2回)、子ども医療費助成。</p> <p>■学校を通じた支援：就学援助、教育と福祉の連携による見守り体制。</p> <p>【まとめ】</p> <p>筑紫野市では一定の支援が実施されていますが、ひとり親家庭の生活状況は見えにくく、支援が十分に届いていない可能性があります。今後も市民皆様の声を背景に、必要な支援が確実に機能するよう取り組みの強化が求められ、議会でも注視していきます。</p>	
--	---	--

意見交換会・第2部 意見・回答

1	項目	前畑遺跡について	文教福祉
	質問	前畑遺跡の場所がわからなくなった。もう少し詳しい説明を。	
	回答	市としては、今後、保存と活用・整備に取り組む予定ですが、整備が完了していないので、保護・保全の面から公開をしておりません。今後、整備して公開・活用を目指して取り組みを進める方針です。	
2	項目	J T跡地の利用	—
	質問	J T跡地の利用について、ご検討されていると存じますが、方向性についてはどのような状況にありますか。	
	回答	意見交換会後に12月議会の冒頭で執行部からJ T跡地について議会に報告がありました。内容としましては、①J T跡地の売却手続きは進んでいるが、購入企業が企業名の公表等を望んでいないため、詳細を報告できない状況にある。②市への売却の可能性を確認したところ、条件次第とのことであったため、条件を提示するよう求めている。③調整池及びグラウンドは、市に寄付されており、12月中に登記が完了する予定である。というものでした。	
3	項目	太陽光パネル	建設環境
	質問	太陽光パネルの設置状況はどうですか。売電価格が下がった場合の業者による放置などに、行政が処分するという危険性は大丈夫でしょうか。また、自然環境への影響も継続して調査をお願いします。	
	回答	本市では、メガソーラーに関する相談は、この3年間受けていない状況です。また売電価格が下落し特に九州では供給過剰による出力制限が行われており、メガソーラー開発は低いと思われます。 また、売電価格下落による採算割れが原因で業者が撤退する話は受けていませんが、将来的に業者撤退による放置などの事態が生じた場合は、先ず所有者を確認し適切に対応すると報告を受けております。	
4	項目	プレーパーク	文教福祉
	質問	プレーパーク、常設になるように検討して頂きたい。	
	回答	プレーパークは、子どもが自分の責任で自由に遊び、失敗や挑戦を通して育つ、とても大切な場だと認識しています。 一方で、常設となると ・用地の確保 ・安全管理と責任の所在 ・常駐スタッフ（プレーリーダー）の確保 ・継続的な運営費 など、いくつか整理すべき課題があるのも事実です。 また、プレーパークは 市民・保護者・地域団体と一緒につくっていく仕組みが重要だと感じています。 そのため、議会としても ・市民主体の運営が可能な制度設計 ・補助制度や場所の確保 について、提案や後押しをしていきたいと考えています。 まずは実現可能性を探るため、定期開催の回数を増やし、ニーズ調査を行った上	

		で、事業計画策定を行い、提案したいと考えます。	
5	項目	のるーとの実証実験	地域公共交通
	質問	<p>のるーとは実証実験と聞いているが、いつ効果検証をするのか？けじめは？市長は費用対効果というが違うと思う。空いた時間で荷物を運ぶなどの案は？周知徹底は？まず誰が乗るのか、子ども達を守らねばならない、ぶらす高齢者で始まったとおもうが。山の方から下りてきている子ども達をどうするのか、乗る方の意見聴取が山口では全然なかった。どこに停まるべきか等は乗る人から意見を拾わねばならないのでは？</p>	
	回答	<p>市議会としては、令和5年度から、全議員で構成する地域公共交通検討協議会において、本市における地域公共交通の課題や解決策について協議を重ねてきました。今後も、よりよい地域公共交通のあり方について、引き続き議論してまいります。</p> <p>のるーと運行による効果検証については、1月からの運行を予定している筑紫・筑紫南・山家地域での利用実績や、今後の地域公共交通体系の見直しの状況を踏まえ、適切に行われるものと考えております。</p> <p>周知徹底については、市ホームページや広報を通じた周知に加え、山口地域の方々へのリーフレットの配布が行われているほか、利用者向けの説明会においても利用方法の周知等が図られるものと考えております。</p> <p>遠距離通学の児童・生徒への対応については、西鉄バスの廃止に先立ち、山口小学校及び保護者と協議が行われておりますので、バスの廃止後は、のるーとにより登下校時の移動手段が確保されているものと認識しています。</p> <p>山口での意見聴取については、利用者に向けた説明会で寄せられた意見に加え、その後、地域の方々からも様々な意見が寄せられており、これらの意見が、しかるべきタイミングで施策に反映されるよう、市議会としても引き続き注視してまいります。</p>	
6	項目	高齢者のゴミだし支援	文教福祉
	質問	介護保険だけでは難しい、高額な民間サービスなどを利用せねばならない、ゴミだし支援は近隣市の方が進んでいる、福祉支援サービスに追加できないか。	
	回答	<p>ゴミ出しに苦勞をしている高齢者の方がいらっしゃるというお話は確かに頂きます。しかし地区によって実態は様々で、ゴミ捨て場までの距離が遠いという話や、重たい資源ごみを出すことが難しいという話、そして認知症が進み決まった日に出せない方がいるという話など、様々だと捉えています。そのように原因が複数存在するとなると、支援体制としては、ゴミ出しだけに限らず、介護・医療・生活など多岐にわたる支援を一体的に考える必要があると考えております。そんな中、市は「住民主体の介護予防・生活支援サービス事業」を今年より始めております。これは行政区やコミュニティ単位で住民が支え合いながら介護予防や生活支援サービスを提供し、その経費の一部を市が補助するものです。むさしヶ丘や筑紫南コミュニティが始めており、他エリアにも広めていく予定とのことですが、まだまだわずかなエリアでしか展開できていないのが現状ですので、これらを周知し、市内全域に広げていけるよう議会としても取り組んで参ります。</p>	

7	項目		文教福祉
	質問	福岡市では公民館が高齢者・子どものための施設として利用され、こども食堂を高齢者も利用できるようにした「みんなの食堂」という取組もある。筑紫野市でもこのようなことが始まればと思うが。	
	回答	こども食堂は、「困っている家庭のための場所」というだけでなく、誰でも立ち寄れる、自然な地域の居場所として広がっていくことが大切だと思っています。頂いたご意見は、今後の居場所づくりや公共施設の活用を考える上で、非常に重要な視点だと受け止めています。今後、一般質問や委員会の場合でも、多世代が自然に集える居場所づくりについて、具体的に提案・議論していきたいと思えます。	